

事故米問題で
政府が流通先の
一つとして公表

安全な和菓子店フアンがPR 葛城

し、彼岸のかき入れ時にもかかわら
ず売り上げが激減した奈良県葛城市

の和菓子製造販売業者をもち立てよ
うと、市職員ら地元有志が24日、商品
の試食会を開き、安全性をPRした。

葛城市新庄の「菓匠庵おのえ」

尾上碩典さん(61)経営。昨年12月

今年1月に入荷した原料のもち粉約
40キの中に、事故米分が混入してい

る可能性があるとして店名が公表さ
れ、繁忙期にもかかわらず、16日の

公表後はキャンセルが相次ぎ、売り
上げは現在も前年同期比の半分程
度。尾上さんの妻、孝子さん(57)は
「小売業者は信頼が命。信頼を失う

のが一番つらい」と話す。

試食会には、市内の主婦ら常連客
も参加。国産原料100%の草もち
などに舌鼓を打ち、「やっぱり味も
香りも最高。絶対的な信頼を置いて
います」などと話した。

和菓子をはおばる市民と経営者の尾上碩典さん(中央奥)

午前10時15分、奈良県葛城市(栗井裕美子撮影)

